

第34回国際キワニス日本地区年次総会京都大会

平成22年9月3日(金)第34回国際キワニス日本地区年次総会が京都ホテルオークラを会場に、小田忠雄国際理事を日本地区カウンセラーに迎え開催された。海外からは元国際キワニス会長 Brian Cunat 夫妻が参加された。年次総会に先立ち、朝食会、歴代ガバナー会議、YCPO 委員会、第3回日本地区役員会が開催された。また、「キワニスの明日を語る会」が開催され、活発な意見交換が行われた。

年次総会は小池和子ガバナーが議長となり開催され、国歌演奏、小池ガバナー、小田カウンセラーの挨拶、ゲストの紹介の後、秋山誠一事務総長の進行により下記の議題が審議され、承認された。

なお、日本地区規約第41条によりクラブ総数28のうち27クラブの代議員の出席を得て、定足数を越えており、総会は有効に成立した。



第1号議案 日本地区規約一部改正

午前中に開かれた第3回役員会の議決に基づき提案された地区年会費の改定に関して審議の結果、原案通り、東京クラブへの経費面の依存解消、事務局体制整備充実等のため来期以降一人当たり2千円引上げ1万円とすると同時に若い年齢層の会員増強に資するため18歳以上の大学生、専門学校生などのユースメンバーについては半額割引制を導入することを可決した。改正後の関係条文は次の通り。

第14章 収入

各クラブは、地区に対し、9月末現在の国際キワニスへの報告書に記載されている在籍会員数に、年会費 10,000円 (但し18歳以上の大学生および大学に在籍するその他の学生並びにそれらに準ずる者に関してはその半額) を乗じた総額を11月末日までに支払わなければならない。〈以下略〉

第2号議案 平成23年9月期事業計画書並びに予算書

事務総長より事業計画につき資料にそった説明がなされ、原案通り可決された。また、予算についても、年会費の引上げを前提に作成された原案を説明、了承された。

第3号議案 平成23年9月期役員・監事の選任

来期の地区役員人事に関し次期ガバナー、事務総長/財務担当、及び監事としてそれぞれ齋藤蕨(名古屋)、秋山誠一(東京)、楠木栄胤(千葉)の各氏を付議し、いずれも異議なく原案通り可決された。なお、その他の役員についても報告、了承された。

第4号議案 第36回日本地区年次総会開催地

2012年の地区大会を和歌山で開催することが議決された。（その後、和歌山クラブより開催時期は2012年9月7日(金)、会場はダイワロイネットホテル和歌山とする旨報告があった）。

第5議案 京都大会決議

原案通り次の4項目が決議された。

1. YCPO（子ども最優先）のキワニス奉仕活動を推進しよう。
2. 新しい会員形態を含めた会員の増強とクラブ新設を進めることにより、キワニス活動に賛同する仲間を増やそう。
3. 一人ひとりがキワニスの広報活動を進めよう。
4. 国際キワニスの第2次 Worldwide Service Project「破傷風から世界中の母と子を守ろう」運動に積極的に参加しよう。

なお、“Eliminate” Projectの訳として「破傷風から世界中の母と子を守ろう」より適切な日本語表現があれば差し替え得ることも可決された。

報告事項：

- 1) 平成22年9月期事業経過報告並びに決算見込みが事務総長より報告された。なお、最終報告は10月の役員会に提出する旨の報告もなされた。
- 2) 佐藤キワニス日本財団理事長より「2009年の公益法人改革の機を捉えKJFが設立され、2010年3月公益財団の認定を受けたので、漸く税制上の優遇を享受できるようになった。具体的には、各クラブで寄付(一件1,000円以上)の記録をきちんと取っておいて頂ければ(今総会の募金のように)、各人の確定申告に必要な資料をKJFが発行できるので、ご協力をお願いしたい。2010年6月にKIFとagreementを結び、KIFの承認が必要という条件付きながらACGCやHixson Fellowなどの寄付金を日本で使えるようになったので、クラブのプロジェクトや一般公募案件に対する資金助成を大幅に増やせることになり、今朝開いた理事会で決めた来期の予算にそれらを織り込んだ。従って、今後皆様からの一層の各種寄付をお願いする次第である。」との報告があった。

議了。



川崎 2010-11 ガバナーより「まずは先程決定した「京都大会決議」をしっかり実行していきたい。実行の過程では創造性、多様性、柔軟性を追求していきたい。世界同時不況の中全体の会員数が減っても女性のメンバーは増えている。アメリカでは女性会員比率が29%にもなっているようだ。小池ガバナーも女性会員増強に注力されてきたが、この路線は是非受け継いでいくつもりである。高齢でもあり、微力ではあるが、今後一年間、懸命に頑張っていく覚悟なので、是非会員の皆様のご支援、ご協力をお願いしたい。」との決意表明があった。

2011年の年次総会開催地の本間千葉クラブ会長から「千葉は東京に隠れた存在であり、京都のような神社仏閣も

ないし、舞妓もない。有るのは「おもてなしの心」のみである。目下、手作りの素朴な大会にしようといういろいろ企画中である。是非楽しみに大勢の会員が参加されるよう「おもてなしの心」でお待ちしている。」との挨拶があった。

引き続き表彰式が行なわれた。表彰内容については平成22年9月期事業報告書を参照ください。



表彰式終了後、川崎2010-11ガバナーを囲んで次期地区役員、監事、地区委員長、クラブ会長ミーティングが行なわれた。